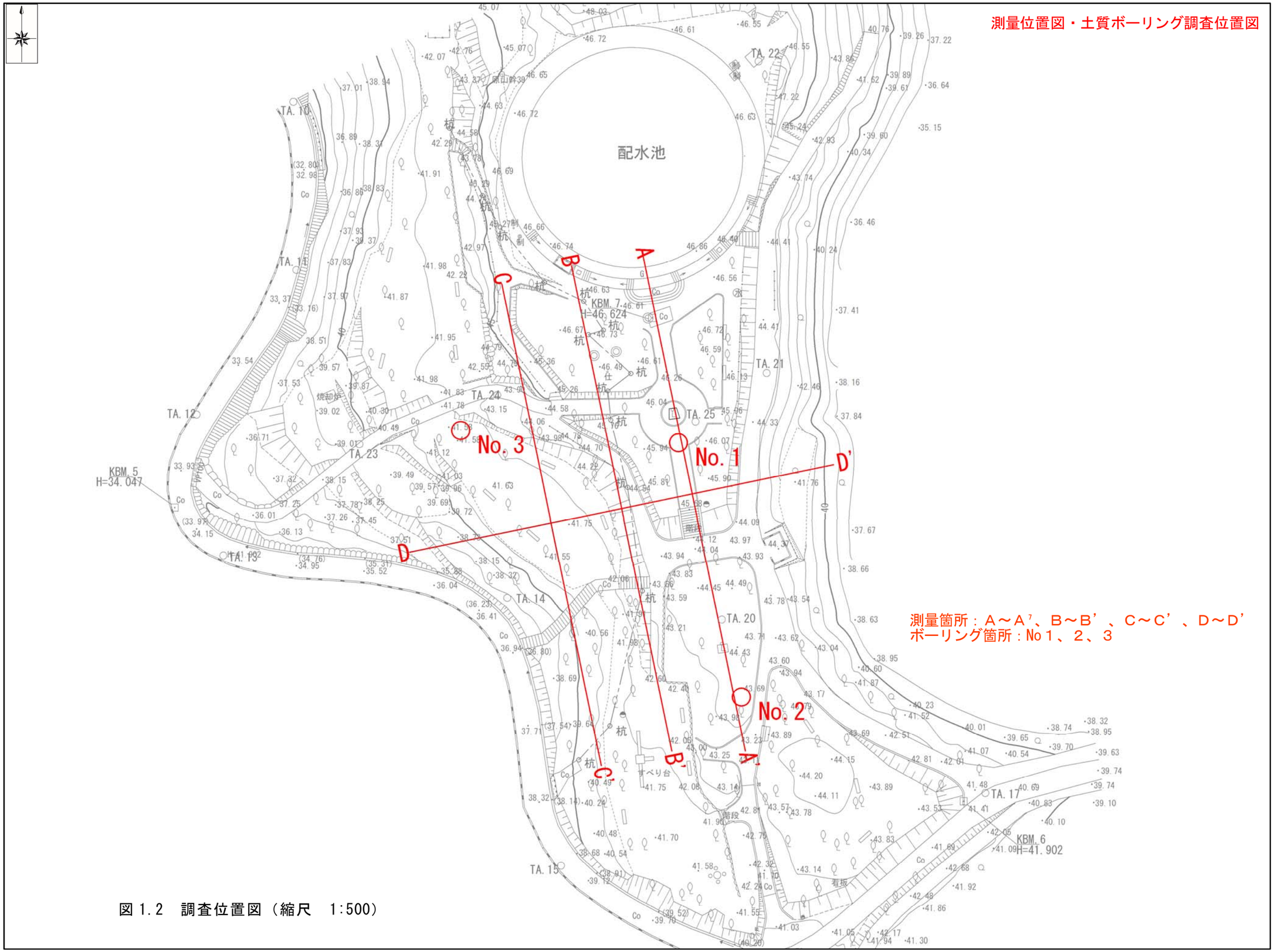
測量位置図・土質ボーリング調査位置図



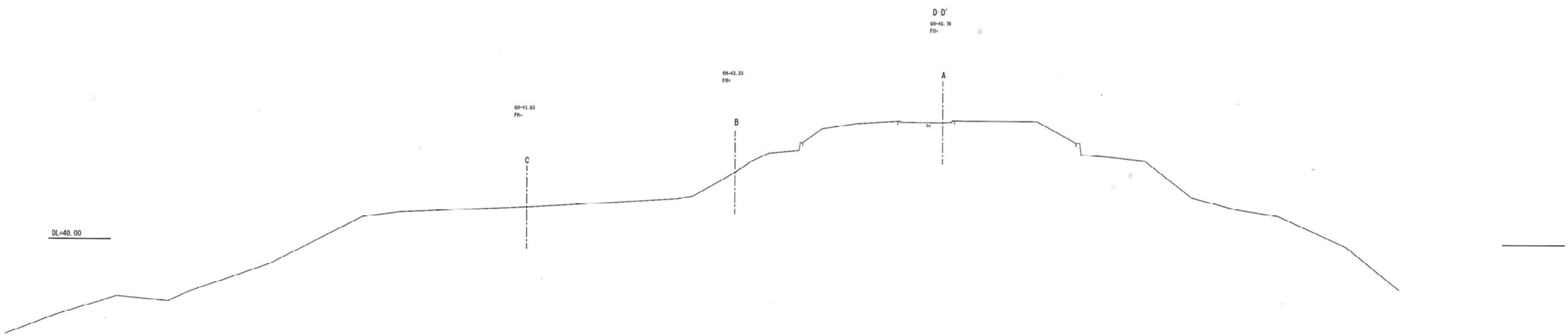
測量箇所：Ａ～Ａ'、Ｂ～Ｂ'、Ｃ～Ｃ'、Ｄ～Ｄ'
ボーリング箇所：No１、２、３

図 1.2　調査位置図（縮尺　1:500）

別紙５－2

測量図面（平面図）

測量図面（縦断図）

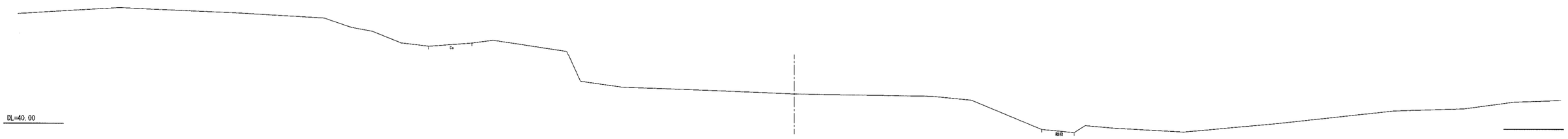


測量図面（横断図）

C-C'

GH=41.63

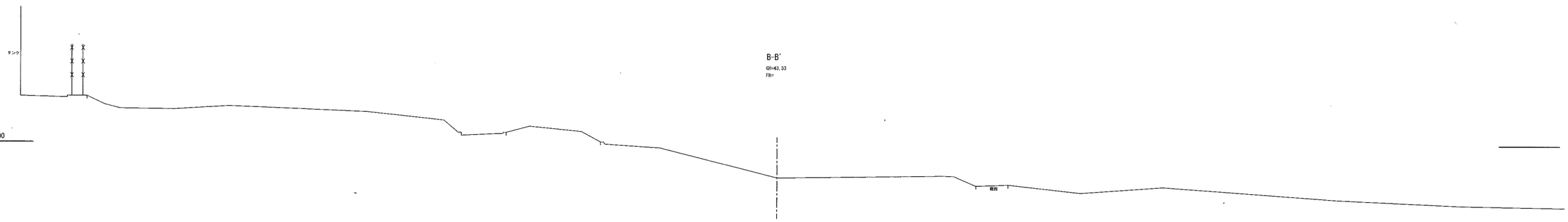
FH=



B-B'

GH=43.33

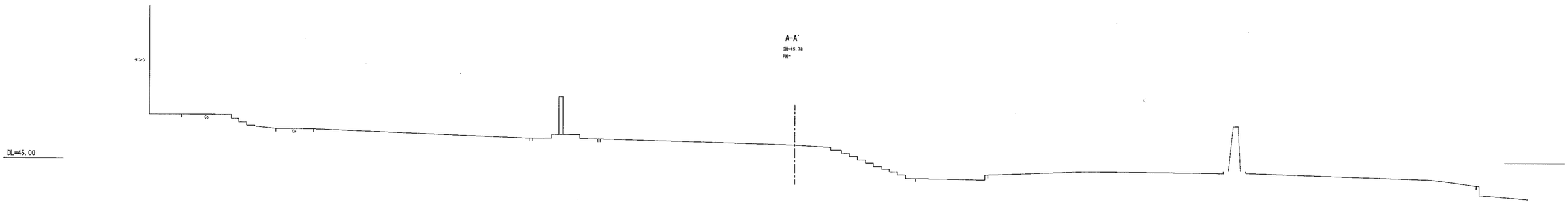
FH=



A-A'

GH=45.78

FH=



ボーリング柱状図

調査名	大牟田市延命配水池更新に伴う基本設計業務委託
事業・工事名	

ボーリングNo	1

シートNo 1

ボーリング名	No.1	調査位置	福岡県大牟田市昭和町			北緯	
発注機関	大牟田市			調査期間	平成 29年 9月 7日 ～ 29年 9月 11日	東経	
調査業者名	サンコーコンサルタント株式会社 電話（092-271-2903）	主任技師	佐藤邦彦	現場代理人		コア鑑定者	谷敏一	ボーリング責任者	松尾達也
孔口標高	45.97m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90°	使用機種	試錐機	YBM-05	ハンマー落下用具	半自動落下装置
総掘進長	7.06m								エンジン	NFAD8	ポンプ	YBM-GP5

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
1	45.17	0.80	0.80		盛土	暗灰			0.15m付近まで採石主体 腐植土、植物根が混入 0.15m以深礫混じり土砂状 径30～150mmの風化砂岩岩塊が混入 礫・岩塊の重なりで隙間も見られる	
2	44.07	1.10	1.90		強風化砂岩	茶～黄茶			固結粘土状で比較的硬質 脈状に粘土が挟在し、亀裂面は暗褐色化	
3					中風化砂岩	暗茶～暗褐			無層理塊状の風化細粒砂岩 コアは10～20cmの短柱状で採取されるが、ハンマー軽打で割れる 70～80度の斜亀裂の発達が見られる 亀裂面は暗褐色化する 2.9～3.6m、4.75～4.9m間はやや粗粒	
4										
5	40.87	3.20	5.10							
6					弱風化砂岩	褐暗灰			細粒砂岩主体 風化により若干の変色が見られる コアは10～25cmの短柱状～短棒状で採取 亀裂面の多くは暗褐色化 亀裂は50～80度が多い 5.45～5.5m間はやや粗粒	
7	38.91	1.96	7.06							
8										
9										

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	8	8	8	24／30	24
1.45 2.15	13	28	9／3	50／23	65
2.38 3.10	30	20／7		50／17	88
3.27 4.05	31	19／2		50／12	125
4.17 5.05	50／6			50／6	250
5.11 6.00	50／7			50／7	214
6.07 7.00	50／6			50／6	250
7.06					

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法

室内試験（　）

掘進月日：9／8、9／9、9／11

ボーリング柱状図

調査名	大牟田市延命配水池更新に伴う基本設計業務委託
事業・工事名	

ボーリングNo	2

シートNo 1

ボーリング名	No.2	調査位置	福岡県大牟田市昭和町			北緯	
発注機関	大牟田市			調査期間	平成 29年 9月 4日 ～ 29年 9月 8日	東経	
調査業者名	サンコーコンサルタント株式会社 電話（092-271-2903）	主任技師	佐藤邦彦	現場代理人		コア鑑定者	谷敏一	ボーリング責任者	松尾達也
孔口標高	44.19m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90°	使用機種	試錐機	YBM-05	ハンマー落下用具	半自動落下装置
総掘進長	9.04m								エンジン	NFAD8	ポンプ	YBM-GP5

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
	44.09	0.10	0.10		盛土	暗褐			腐植土、草根混入	
1	43.09	1.00	1.10		強風化砂岩	黄茶			細粒砂岩の強風化部 ビスケット状～礫状で採取される 手で割れる程度の硬さ	
2 3	40.69	2.40	3.50		中風化砂岩	暗茶～暗褐			無層理塊状の風化細粒砂岩 コアは片状～7cm程度の短柱状で採取 ハンマー軽打で割れる 2.75m付近、2.9m付近に粘土化が見られる 2.75～3.0m間はやや粗粒	
4 5 6 7 8 9	35.15	5.54	9.04		弱風化砂岩	褐暗灰			細粒砂岩主体 風化により若干変色が見られるが硬質 コアは10～25cmの短柱状～短棒状で採取 ハンマー軽～中打で割れる 亀裂面の多くは暗褐色化 5.8～6.2m、6.85～7.15m、8.1～8.4m、8.45～8.55mは斜亀裂発達	

標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値 (0 10 20 30 40 50 60)	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
1.15	25	25		50/20	75							9/4
1.35 2.05	27	23/9		50/19	79							
2.24 3.15	16	18	16/7	50/27	56							
3.42 4.02	50/7			50/7	214							
4.09 5.02	50/4			50/4	375							9/5
5.06 6.00	50/5			50/5	300							
6.05 7.00	50/5			50/5	300							
7.05 8.00	50/5			50/5	300							9/6
8.05 9.00	50/4			50/4	375							9/7
9.04												

ボーリング柱状図

調査名	大牟田市延命配水池更新に伴う基本設計業務委託
事業・工事名	

ボーリングNo	3

シートNo 1

ボーリング名	No.3	調査位置	福岡県大牟田市昭和町					北緯	
発注機関	大牟田市			調査期間	平成 29年 9月 12日 ～ 29年 9月 15日			東経	
調査業者名	サンコーコンサルタント株式会社 電話（092-271-2903）	主任技師	佐藤邦彦	現場代理人		コア鑑定者	谷敏一	ボーリング責任者	松尾達也
孔口標高	41.66m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	
総掘進長	8.30m							試錐機	YBM-05
								ハンマー落下用具	半自動落下装置
								エンジン	NFAD8
								ポンプ	YBM-GP5

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
	41.21	0.45	0.45		強風化砂岩	茶～黄茶			表層固結土状 一部無水掘削で土砂状コア	
1					中風化砂岩	暗茶～暗褐			無層理塊状の風化細粒砂岩 コアは5～15cmの短柱状で採取されるが、一部35cm ハンマー軽打で割れる 縦～高角度の斜亀裂発達が見られる 亀裂面は暗褐色化 1.9～2.0m、3.55～3.7mはやや粗粒	
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8	33.36	7.85	8.30							
9										

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	16	20	14／7	50／27	56
1.42 2.15	14	13	15	42／30	42
2.45 3.15	19	21	10／5	50／25	60
3.40 4.10	20	30		50／20	75
4.30 5.00	30	20／6		50／16	94
5.16 6.00	39	11／5		50／15	100
6.15 7.00	35	15／4		50／14	107
7.14 8.10	19	31		50／20	75
8.30					

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
				9／12
				9／13
				9／14